

調査概要

●方法：郵送法(自記式質問紙調査)

●時期：2017年9月～10月

●対象：2016年4月2日～2017年4月1日生まれの子どもをもつ家庭 3,205世帯(調査モニター)

発送数		有効回収数	有効回収率
3,205	主となる養育者	3,005 (うち母親 2,975)	93.8%
	副となる養育者	2,750 (うち父親 2,625)	85.8%

※本研究プロジェクトの調査モニターの世帯に調査票を配布した。調査モニターは、全国の対象月齢の子どものリストから、全国7地域の出生数の比率(厚生労働省「人口動態統計」2016年度)に応じて抽出した「調査モニター募集対象者」に対して、2017年7月～8月にかけて募集した。

※調査では子どもの「主となる養育者」と「副となる養育者」に回答を依頼した(「主となる養育者」のみの回答も可とした)。誰を「主」「副」とするかは、回答者に委ねた。

※調査時点で、子どもの月齢は0歳6か月～1歳5か月であった。

※回収した調査票のうち、月齢が不明な票を除いた。

「主となる養育者」「副となる養育者」の(子どもからみた)属性

		副となる養育者						合計	
		母親	父親	祖母	祖父	その他	無答不明		未回収
主となる 養育者	母親	0	2,624	58	4	3	34	252	2,975
	父親	24	0	0	0	0	0	3	27
	祖母	1	0	0	1	0	0	0	2
	無答不明	0	1	0	0	0	0	0	1
合計		25	2,625	58	5	3	34	255	3,005

本冊子では、「主となる養育者」と「副となる養育者」の組み合わせとして最も多かった母親、父親(■部分)について報告する(母親2,975、父親2,624)。

●地域：全国

●主な調査項目：子どもの気質、アタッチメント、発達、生活時間、習い事、養育者の養育行動、子育ての悩み、配偶者との関係性、生活時間、家事・子育ての分担比率、妊娠・出産前後の気持ち、子育てで頼りになる人、親性、幸福感、抑うつ、家事・子育て等の負担感、子育てしやすい社会にするために必要だと思うこと、社会に対する評価、これから子どもをもつ予定

●データを読む際の注意点

- ①図表内の()はサンプル数を示している。
- ②図表で使用している百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入して算出している。四捨五入の結果、数値の和が100.0にならない場合がある。
- ③図表内の月齢区分は、調査対象の子どもの月齢を3区分したものである。低月齢は0歳6か月～0歳9か月、中月齢は10か月～1歳1か月、高月齢は1歳2か月～1歳5か月である。
- ④子どもの生活や発達、世帯年収は「主となる養育者」にたずねたため、母親の回答を分析している(図表中に「母親の回答」と明記)。

*本調査は東京大学ライフサイエンス委員会倫理審査専門委員会の倫理審査の承認を受け、実施している。